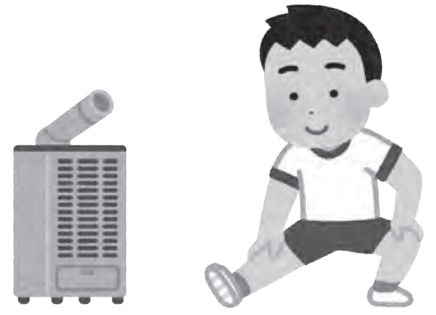




体育館及び避難施設などにエアコンの設置検討を 田中紀吉



問 各学校の屋内運動場及び体育センターアリーナの温度調査及び利用状況は。

答 各校では、夏季使用時、窓開けや扇風機などで換気をし、熱中症計で暑さ指数を測定した上で使用している。体育センターでは温度

計が設置され、室内温度を把握して、気温が高い日には、職員が窓開けなどの換気をするともに、利用者に熱中症対策をするよう注意喚起をしている。

問 移動式エアコンの特徴は、200V配線のみで使

用でき、購入やリースによる短期間のレンタルが可能と柔軟な対応である。導入の検討はされたのか。

答 移動式エアコンを含め空調設備導入等に向け、あらゆる方法を検討している。

公費負担以外の学校教育にかかる保護者負担に対して支援を

問 こども家庭庁が発足し、国は異次元の支援を行うと宣言した。当町は、「食と教育で選ばれるまちに」を目標に掲げている。保護者負担の軽減・支援をすべきではないか。

答 町では負担軽減を目的に、「15の春支援事業」第3子以降の学校給食費を助成する「多世帯学校給食費助成制度」等を実施している。

今後のドローンの活用について

杉田健司



町長 物流や赤外線カメラを行なえる業務用ドローンも研究していく



問 現在2機あるドローンの活用事例は。

答 購入してから約4年間で、動画撮影や広報取材等、20件の活用があった。

問 今後、次の4点について、実証実験等を行っていく考えはあるか。

- (1)樹木の「ナラ枯れ」の被害状況調査
 - (2)野生動物の生息域調査
 - (3)山間部、過疎地域への日用品等の搬送
 - (4)河川上空の物流航路
- 答 (1)のナラ枯れは、カシノナガキクイムシにより、

ミズナラ等が枯損するもので、町内でも広い範囲で確認されている。想定される被害は、枯れ枝の落下や倒木による通行人等への人的被害や建物や道路等への物的被害が考えられる。山の中での被害は少ないと考え

られるため、道路沿いや建物周辺を地上から確認し、被害が変化した場合ドローンの活用も検討する。

(2)、(3)、(4)ともに現在所有のカメラドローンでは対応が出来ないため、今後はドローン物流を検討している民間事業者との連携や新たに専用機器（業務用ドローン）等进行研究していく。



町が所有しているドローン



「抒情歌を歌う会」会員のみなさま

老人クラブのソフト事業への対策と助成金を 長島金作



町長 社会福祉協議会と協議しつつ



問 傍観する姿勢ではなく、積極的に運営支援すべきと考えるが。

答 老人クラブ連合会が行ったアンケート結果に基づいて、何か1つでも取り組み、魅力ある活動につなげていきたい。

問 地域活動をさらに活性化させるためには、運営補助金の増額が必要と思うが。

答 連合会の正副会長・女性部長会議で、新規事業を立ち上げる場合予算を要望したいが、一律に増額を希望する意見はない。

水道料金の減免について

問 令和5・6年度は物価高騰対策で町の一般会計から5,000万円を繰り出し、基本料金2分の1を減免しているが、令和7年度も物価高騰対策が必要か判

断する時期と思うが、来年度も減免の継続はあるのか。

答 令和7年度における物価高騰の社会情勢や国の動向を踏まえて判断する。

問 町民の誰でも「蛇口を開けば水道水は出てきます」そんな当たり前の幸せを守ることは町政の最優先であるが町の考えは。

答 一般会計から1億2,000万円を繰り出してきた。今後慎重に検討する。※「ときがわ町地域防災計画とドローンの活用について」についても質問した。

いじめ・不登校の問題について

野原和夫



教育長 校内組織である教育相談部が中心となって未然防止・早期発見等に務めている



問 いじめのない学校に向けての防止対策は。

答 各校にいじめ防止等の組織がある。児童生徒に関する情報交換、アンケートの計画・実施、教育相談体制の整備等が行われている。不登校について、町の

対策・対応については。教育相談部が中心となり、未然防止、早期発見・対応を図り、情報交換及び対応検討を行っている。

教育環境の充実に

問 クラブ活動費、PTA

会費、卒業アルバム代等を就学援助の補助対象に願う。

答 卒業アルバム代は、今年度小学校で1万1千円、中学校で8千800円を上限に支給する予定。PTA会費は、今後、補助対象として検討する。クラブ活動

費は、現時点で補助対象として考えていない。

国民健康保険税引き下げを



問 18歳以下の子どもの均等割の減免を。更に12月2日現行保険証の新規発行が停止となる説明等は、広報等で周知していただきたい。

答 町は、国が示した減免以外は考えていない。保険証については、住民の方に寄り添った形で説明・対応していく。